

### 学ぶポイント

- 金融…お金に余裕のあるところから必要としているところに融通する
- 金融の種類…直接金融と間接金融



最初は知り合いや周りの人にお金を借りて起業しようとする人が多いですが、多くのお金はなかなか集まりません。新たな事業を興す際、資金を集めるためにはどうしたらよいでしょうか。

## 金融とは？

お金に余裕のあるところから、お金を必要としているところへとお金が流れるようにする(融通する)ことを「金融」といいます。例えば、将来のためにためていて「すぐに使わないお金」を持っている人たちがいるとします。そのお金を工場の建設や機械の購入のために資金を必要としている会社が活用することができれば、経済の動きは活発になります。

金融は大きく「直接金融」と「間接金融」に分かれます。

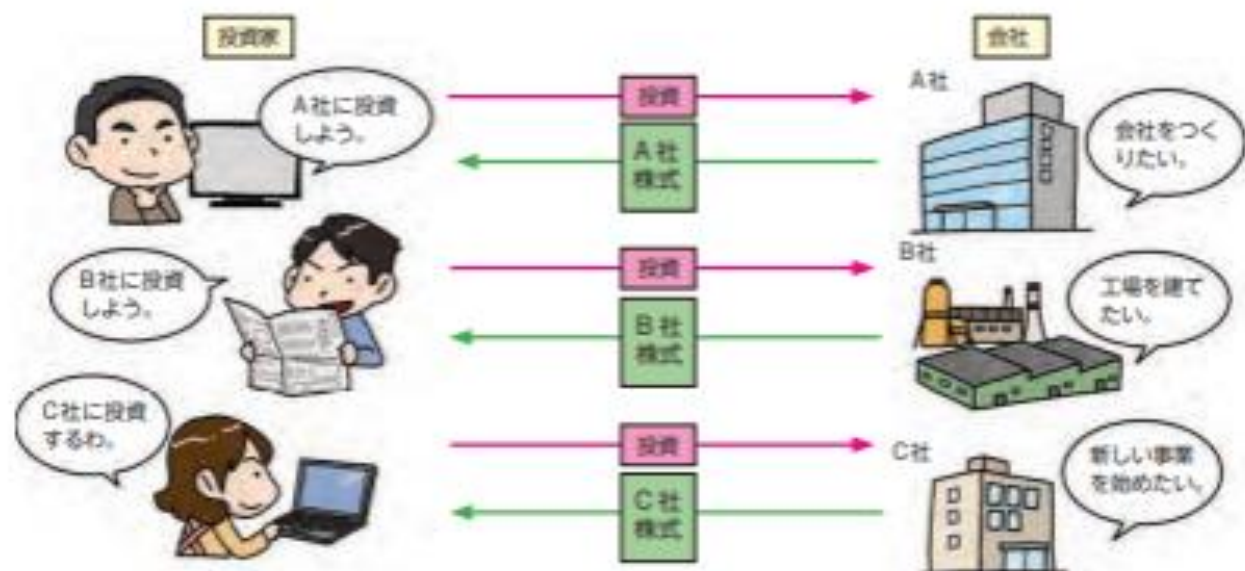


## 直接金融とは？

お金に余裕のある側(投資家)が、お金を必要としている側(会社など)のうち、どの会社にお金を提供(投資(出資ともいいます))するかを、自分自身で判断して選びます。このように、お金が投資家と会社などとの間で直接的にやりとりされることを、「直接金融」といいます。直接金融の代表的なしくみが、株式です。会社が、株式を発行して集めたお金は、借入のような返済義務はありません。そのた

め、会社はそのお金で利益を生み出すまでに長い時間がかかるような大きな事業などに使うことができます。会社は得た利益の一部を配当として投資家に支払います。

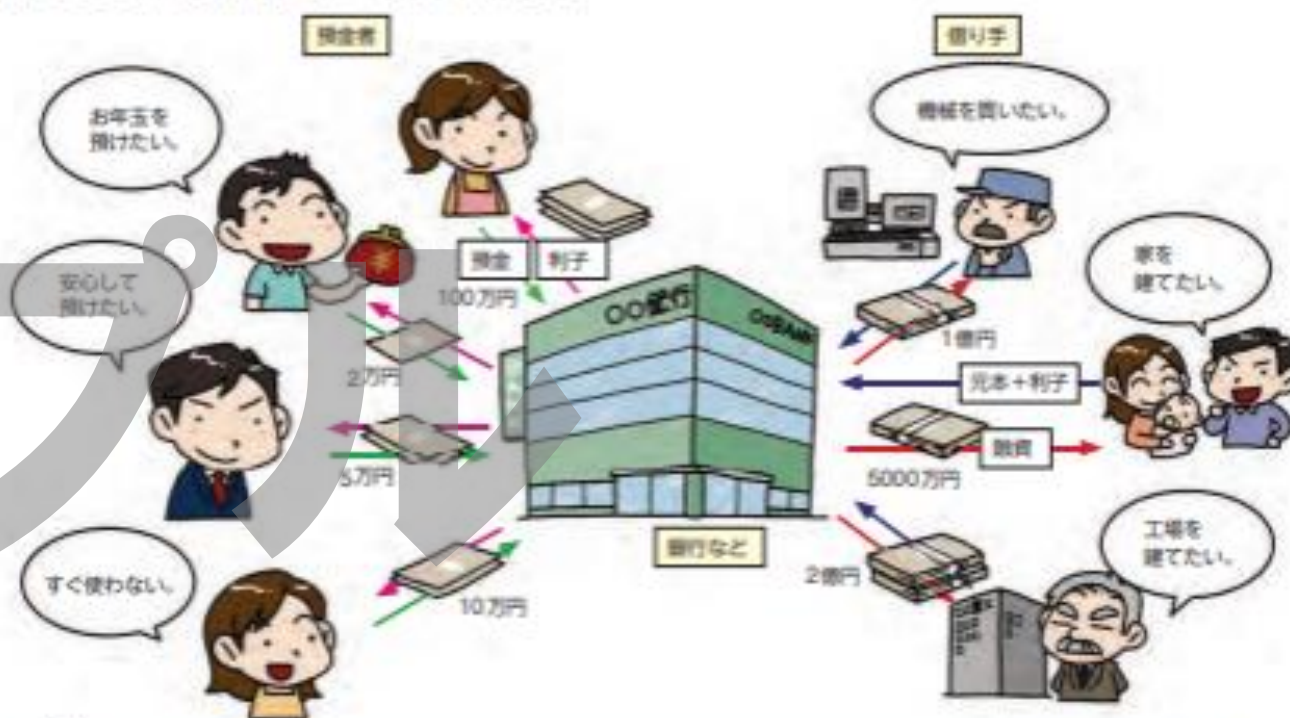
なお、直接金融では、投資した会社などが倒産(破綻)した場合は投資家が直接、損失を負いますが、投資した資金より多く負担する必要はありません。



## 間接金融とは？

わたしたちが銀行などの金融機関に預けているお金(預貯金)は、その金融機関の判断でお金を必要としている会社などに提供(融資)されます。このように、お金が金融機関を通して間接的にやりとりされることを「間接金融」といいます。銀行などが

ら借りたお金は、返済期限が来たら必ず返さないとはいけませんし、「利子」を支払う必要があります。お金を提供した会社が倒産(破綻)した場合、銀行などが損失を負います。



## 直接金融と間接金融の特徴

直接金融	間接金融
<p>○出し手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資家は出資する会社を選ぶ。</li> <li>・出資先の会社の利益が増えれば配当も増える。</li> <li>・万が一、会社が倒産したとき、投資家(株主)は出資した金額の範囲で損失を負う。</li> </ul> <p>○受け手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出資してもらった資金は、会社が長く借り返す必要はない。</li> <li>・利益が出れば配当を支払う。</li> </ul>	<p>○出し手(預金者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預金者は銀行を選ぶが、預けたお金が貸し付けられる会社を選べない。</li> <li>・借り手がお金を返せない場合(会社が倒産したときなど)は、銀行が損失を負い、預金者は負わない。</li> </ul> <p>○借り手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の信用によるが、まとまった額を一か所から借りることができる。</li> <li>・借りたお金は利子をつけて返済する。</li> </ul>